

多重債務問題に関する 全銀協の取組みについて

令和3年6月22日

辻 松雄

一般社団法人全国銀行協会 常務理事



一般社団法人
全国銀行協会

〈目次〉

1. 銀行カードローン残高の推移	p.2
2. カードローン専用相談窓口における相談等受付状況	p.3
3. 多重債務防止啓発に関する取組み	p.4
4. 金融経済教育に関する取組み	p.6

1. 銀行カードローン残高の推移

- 「全国銀行預金・貸出金速報」（当協会 月次公表）にあわせて、平成29年10月から銀行カードローン残高を公表。
- 令和3年4月末の残高は「3兆6,970億円」。令和2年4月末比9.8%減少（令和3年3月末比1.0%減少）。

【図1 業態別残高推移（単位＝金額：億円、比率：%）】

	平成31年・令和元年			令和2年			令和3年				
	～	4月	～	～	4月	～	～	3月	4月	前月比	前年同月比
全国銀行		42,619			41,001			37,340	36,970	△1.0%	△9.8%
都市銀行等		23,321			22,342			20,274	20,096	△0.9%	△10.1%
地方銀行		15,862			15,430			14,187	14,041	△1.0%	△9.0%
地方銀行Ⅱ		3,435			3,227			2,877	2,832	△1.6%	△12.2%

※全国銀行：都市銀行5行（みずほ・三菱UFJ・三井住友・りそな・埼玉りそな）、地方銀行62行、地方銀行Ⅱ（第二地方銀行協会加盟の地方銀行）38行、信託銀行4行（三菱UFJ信託・みずほ信託・三井住友信託・野村信託）、新生銀行、あおぞら銀行の111行（令和3年3月末時点）

2. カードローン専用相談窓口における相談等受付状況

- 多重債務抑制の観点から、カードローンに関する専用相談窓口を設置（平成29年10月受付開始）。
- 専用相談窓口においては、消費生活相談員などの資格を保有する相談員や、専門のカウンセラーが返済方法のアドバイス等に対応。令和2年度の受付相談等件数は「74件」。

【図2 カードローン専用相談窓口 受付相談等件数（設置以降累計）（平成29年10月19日～令和3年5月31日）】

返済困難	貸付自粛	情報開示	その他	合計
117件	13件	18件	136件	284件

※上記カテゴリは、本資料において相談受付内容を説明するために分類したもの。

【図3 全銀協相談室に寄せられた主な相談・カウンセリング事例】

- 銀行カードローンの利用限度額を引き上げたい。当該行に相談したが断られた。どうすればよいか。
- 借金返済のために銀行カードローンを借り入れたいが、借入可能な銀行が見つからない。どうすればよいか。
- 銀行カードローンを含む複数の借入がある。失業して返済が困難になった。債務整理はしたくない。どうすればよいか。

3. 多重債務防止啓発に関する取組み（1/2）

- 令和2年度に引き続き、ギャンブル等依存症対策基本法にもとづく「ギャンブル等依存症問題啓発週間（毎年5月14日～20日）」に合わせて、「お金を借りてギャンブルにのめり込むこと」の防止啓発や貸付自粛制度の周知を実施。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、啓発動画を民放キャッチアップ配信サービス（放送終了後のテレビ番組をインターネットで視聴できるサービス）等に配信（5月14日～31日）。

【図4 ギャンブル等依存症問題啓発週間等に配信した啓発・周知動画イメージ】



※ YouTubeの当協会公式チャンネルにおいても配信中 <https://www.youtube.com/c/zenginkyo-movie>

3. 多重債務防止啓発に関する取組み（2/2）

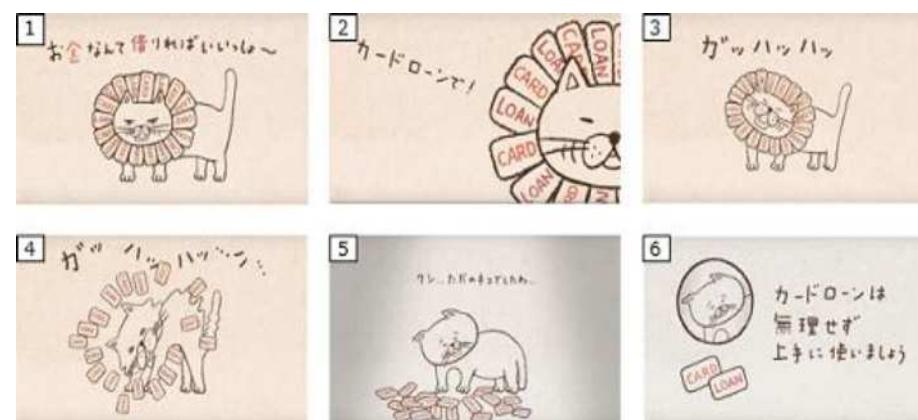
- ローン・クレジットを正しく利用していただくための啓発・広報として、「消費者信用関係4団体」（日本クレジット協会、日本クレジットカード協会、日本貸金業協会、全国銀行協会）による共同キャンペーンを11月に実施予定。

【図5 共同キャンペーンにおける全銀協の取組み内容（予定）】

〔電車内ステッカー〕



〔啓発動画〕



実施内容（予定）

電車内ステッカー	➤ 全国の主要鉄道路線（東京・大阪・名古屋・札幌・福岡・仙台・広島）で電車内ステッカー広告を実施（11月予定）。
動画配信	➤ 当協会ウェブサイトやYouTubeの当協会公式チャンネルにおいて啓発動画を配信。

4. 金融経済教育に関する取組み（1/4）

- 「家計管理」と「生活設計」に関するリテラシー向上を図ることを基本として、お金の基礎知識からローン・クレジットの利用方法・留意点など、幅広いテーマで金融経済教育の取組みを実施。

【どこでも出張講座】

- 中学校・高校等の学校向けを中心に、無償で講師を派遣（平成15年～）。講義内容のテーマは申込者の希望を踏まえて対応。令和2年度は非対面のオンライン講義を中心に「69件／5,640名」を対象に実施。

【図6 学校向け実施テーマ（一例）】

「生活設計・マネープランゲーム」

カードゲーム教材（次頁参照）を使用して、人生において「お金とどのように関わっていけばいいのか」を体験するアクティブラーニング型の講座。

「社会に出て気をつけたいお金のこと」

これから社会に出るに当たって気をつけたいお金の基礎知識、お金と賢く付き合う方法を学ぶ。

（内容）家計管理、三大資金、金融サービス、クレジットカード、多重債務、金融トラブル 等

「ローン・クレジットのしくみとお金の使い方」

ローンとクレジットの利用方法と留意点を確認。目に見えないお金の仕組みを学ぶ。

（内容）家計管理、三大資金、ローン、クレジットカード、多重債務 等

「大学生活とお金のこと」

大学生活を過ごすに当たって、また今後社会に出るに当たって必要となる基礎的な金融知識を学ぶ。

（内容）家計管理、進学に係る費用、奨学金、三大資金、クレジットカード、多重債務、金融トラブル 等



4. 金融経済教育に関する取組み（2/4）

〔教材制作・無償提供〕

- 学校教育等の現場で活用できる各種教材・動画等を制作し、無償で広く提供。社会科や家庭科、総合的な学習の時間等の学習カリキュラムと連携した内容とし、ゲームや映像を使って学べる体験型教材を拡充。

【図7 教材ラインアップ（一例）】

「生活設計・マネープランゲーム」（対象：中学生～）

20歳以降の人生についてお金の面からシミュレーションするカードゲーム型の教材。

収入や生活費等、人生に必要なお金について学ぶとともに、計画性を持って生活する必要があることを体感する。



「シリーズ教材 お金のキホン」（対象：高校生～）

高校生が学ぶ金融の知識について、学習指導要領の家庭科と公民科の内容のポイントをおさえた教材。生徒用テキストと併せて、テーマ別の授業プログラムを提供（下記一例）。



授業プログラム「家計管理」

生活にかかわる基本的な経済感覚を身につけ、将来の生活像に関連付けて生活費をイメージできるよう「一人暮らし」のシミュレーションを通して収支のバランスを考える。



「はじめてのお金の時間」（対象：中学生～）

「使う」「貯める」「借りる」の3つの視点で、収入や支出、貯蓄やローン・クレジットについて学ぶ教材。

学校で活用しやすくするため、グループワークやディスカッションを取り入れた授業プログラムを提供しており、テーマ別に短時間（15分～）での活用も可能。



授業プログラム「ローン」

様々な体験談からローン利用時のポイント・留意点を学び、住宅等購入時の賢いローンの利用について具体的なケースを通して考える。



授業プログラム「多重債務」

ドラマ仕立ての動画資料を見て多重債務に陥る原因・プロセスを学び、多重債務の注意喚起ポスターを作成するワークを通して学びを深める。



4. 金融経済教育に関する取組み（3/4）

〔その他若年層向け施策①〕

- 金融・経済や生活設計・家計管理等に関して幅広く学べる若年層向けのクイズアプリを提供。
- 若年層向け小冊子3種（「お金の話」「未来予想図」「お金の運用」）の配布。令和2年度は3種合計で14,040部配布。

【図8 若年層向け学習ツール（一例）】

〔若年層向けクイズアプリ〕



〔若年層向け小冊子3種〕



- ・お金の話…ローン・クレジットカードを含む金融商品等について説明。
- ・未来予想図…人生の三大資金等、ライフプランについて説明。
- ・お金の運用…資産運用のポイントについて説明。

4. 金融経済教育に関する取組み (4/4)

【その他若年層向け施策②】

- 令和2年度は、金融リテラシー向上の観点から期間限定の特設サイトを設置（令和3年1月～3月末）。
- キャラクターが家計管理・資産形成のポイント毎に解説。多重債務防止も訴求。

【図9 特設サイトイメージ】

家計管理

Lesson 1 家計について知ろう!

Lesson 2 収支のバランスを見える化しよう!

Lesson 3 お金の使い方を意識しよう!

Lesson 4 クレジットカードを上手に使おう!

Lesson 5 多重債務に注意しよう!

資産形成の基礎

Lesson 1 自分のお金を色分けしてみよう!

Lesson 2 どんな金融商品にもリスクはある!

Lesson 3 リスクを抑えるための3つのポイント

クレジットカードを上手に使う!

便利だからこそ
気をつけたい
利用上の注意って?

クレジットカードは、商品を買ったり、サービスを受けたりした代金を後から支払うことができるもの。新型コロナウイルスの影響で、オンラインショッピングなどで利用する機会が増えていることだろう。カード利用代金の支払い方法は、一括払いや分割払い、リボ払いなど、自分に合った返済方法を選択できるのも特徴だ。だが、クレジットカードはお金が手元になくても手軽に利用できるだけに、つい使いすぎてしまうこともある。将来の収入で確実に返済できるかを確認して、計画的に利用するようにしてほしい。

クレジットカードのメリット・デメリット

メリット

- 1 オンラインショッピングなどの支払いが簡単
オンラインショッピングなどで商品を購入した場合、クレジットカード決済に対応していれば、カード情報を相手に登録することで、支払いができます。
- 2 後払いにできることがある
手元にお金を持っていないでも、カードを使えば、後で支払うことができます。また、一括払いでは一般的に手数料もかかりません。
- 3 現金をたくさん持ち歩く必要がなくてOK
例えば、高価なものを購入するとき、海外旅行に行くときなど、現金をたくさん持ち歩くリスクがある場合は、クレジットカードがあれば、カードだけで買い物ができます。
- 4 分割払いにすることもできる
高価なものを購入するときなど、一度に支払う負担が大きい場合は、分割払いにすることもできます。

デメリット

- 1 使いすぎる（借りすぎる）心配がある
お金を使っている感覚やカードでいくら買ったか、わからなくなる場合があります。後からお金が足りなくならないように、買い物と支払いの計画をしっかりと立てることが必要です。また、キャッシング機能は、簡単にお金が借りられるので、借りすぎに注意が必要です。
- 2 分割払いなどは、手数料がかかる
分割払いにすると、分割回数などに応じて、所定の手数料がかかります。後から「思ったよりお金がかかった」ということがないように利用することが必要です。
- 3 悪用される危険がある
落としたカードを拾われたり、インターネット上に登録したカード情報が漏れたりすると、カードを不正使用される可能性があるため、しっかりと管理が必要です。

多重債務に注意しよう!

支払いに困って、キャッシングや借入を繰り返すと?

多くのクレジットカードには、ATM などから現金を借りられるキャッシング利用枠が設けられている。返済日にピンチだからといって、キャッシング機能を使って、お金を借りて支払っている人はいないだろうか。キャッシングは便利なサービスだが、お金を借りるという意識を持って、返済や資金繰りを事前に計画しておくことが必要だ。特に複数のクレジットカードやカードローンなどで借入を繰り返していると、借金が雪ダルマ式にどんどん膨らむ「多重債務」に陥る可能性があることを肝に銘じよう。

多重債務に陥るメカニズム

A社から借りた100万円を
B社から借りたお金で返すとすると...

返済先	返済額	残高
A社	100万円	100万円
B社	30万円	70万円
C社	30万円	40万円
D社	30万円	10万円
E社	30万円	20万円
F社	30万円	50万円
G社	30万円	80万円
H社	30万円	110万円
I社	30万円	140万円
J社	30万円	170万円
K社	30万円	200万円
L社	30万円	230万円
M社	30万円	260万円
N社	30万円	290万円
O社	30万円	320万円
P社	30万円	350万円
Q社	30万円	380万円
R社	30万円	410万円
S社	30万円	440万円
T社	30万円	470万円
U社	30万円	500万円

支払いや多重債務で困ったら、家族や借入金機関へ相談! または相談窓口へ!

多重債務相談窓口はコチラ

カウンセリングサービスはコチラ

※キャラクターボイスは声優の櫻井孝宏 氏、水瀬いのり 氏が担当（公開終了）